

カワウのねぐらができてます！

〇〇〇〇（住所*****）

では、
カワウのねぐらが、住宅地に隣接した林に
できてしまい、これから騒音や糞による
悪臭などによる被害が広がっていくことが
心配されます。

これらの生活環境被害の拡大を防ぐために
カワウの生態と被害対策について、
知ることがたいせつです。
勉強会に、ぜひご参加ください。

問い合わせ先：〇〇市〇〇〇〇課

電話：000-000-0000 E-mail：*****@*****.jp



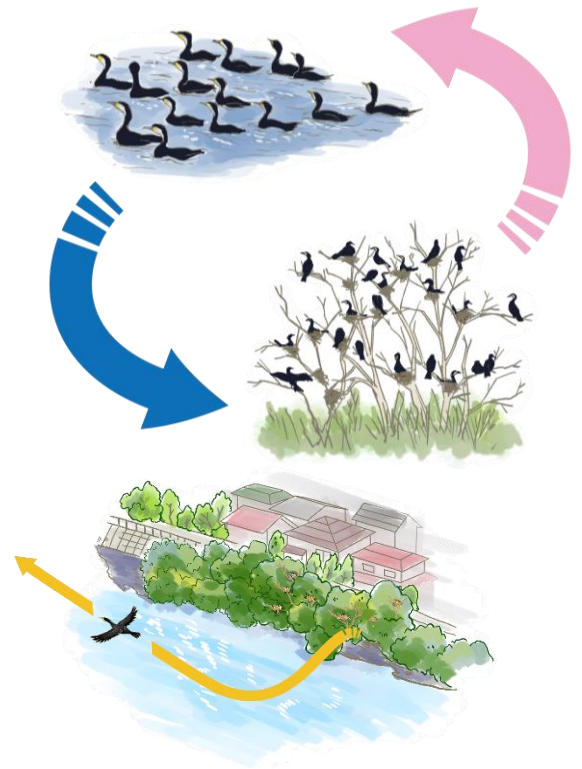
カワウってどんな鳥？

カワウは首を伸ばすと全長約90cm、体重2kgある
大型の水鳥で、沿岸部や川で泳いで魚を捕まえて食
べる鳥です。

カワウは集団で行動することが多く、夜は水辺の林
に集まって夜を過ごします。その場所を「ねぐら」
と呼んでいます。ねぐらのうち、繁殖のためにカワ
ウたちが巣を作った場所を「コロニー」と呼びます。

ハトのように上に飛び立てず、滑空するスペースが
必要なので、ねぐらは水辺の林に作ります。
カワウの糞は白いので、ねぐらやコロニーの林は
真っ白になります。

昼間は海や川に出かけていてねぐらにはいませんが、
夕方になると帰ってきて騒がしくなります。
夜中は黙って眠ります。



カワウの繁殖は冬から夏にかけて

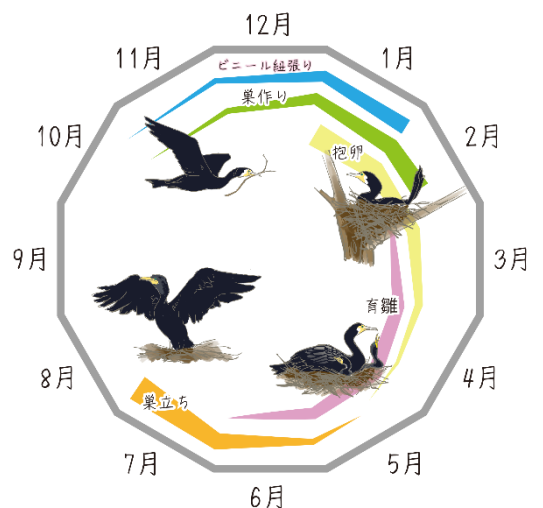
11～1月：ペアを形成して、巣材を運んで巣をつくる



2～4月：3～4個の卵を産んで1か月ほど抱卵する



5～7月：雛は2か月ほどの間、親鳥からの給餌を受け
て成長する。日照りや雨、捕食者などの
リスクを乗り越えた1～3羽のヒナが巣立つ

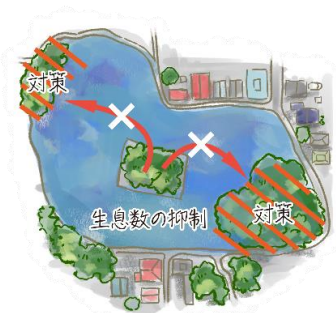


カワウのねぐら管理の選択肢 2つのゴール（範囲制限と追い出し）

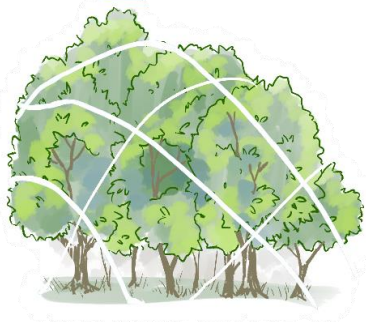
住宅地に隣接した林にカワウのねぐらができてしまい、生活環境被害が起きている場合、その林からカワウを追い出してしまえば、問題は解決します。ですが、カワウがその林に執着していると、一筋縄ではいかないことがあります。

そこで、完全に追い出すのではなく、被害が小さくなるように工夫しつつ、ねぐらの存在を許容する選択肢もあります。自治会や自治体と相談し、専門家等からアドバイスをもらって、対策を進めていきましょう！

許容



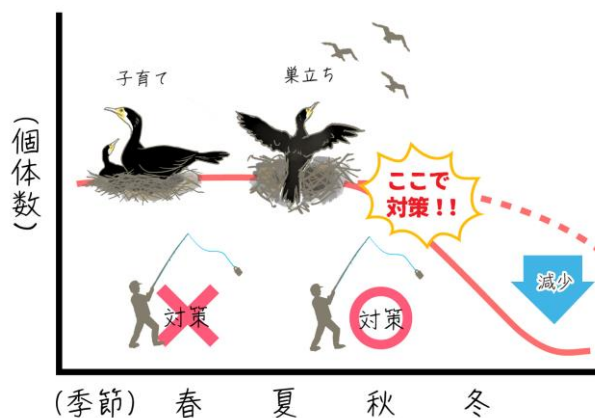
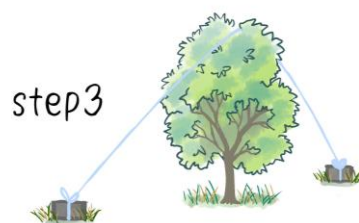
追い出し



対策例：ビニルひも張りで追い出し

釣り竿を使ったビニルひも張りは、釣り竿などの道具があれば、簡単にできる方法です。ビニルひもは、視覚的刺激だけでなく、風を受けて不定期に揺れ、ビリビリと大きな音が出ます。そのため、慣れにくく、効果が長く続くのがポイントです。

効果をあげるためには、カワウが巣に卵を産む前に実施する必要があります。何本のビニルひもを張るのが良いか、などは林の広さやカワウの生息数によって変わります。最初からたくさん設置せず、少なめに設置しておいて、時間と共に効果が薄れてきたら、ビニルひもを追加で張ると効果的です。



カワウ対策勉強会を開催します！

開催場所：〇〇〇〇（住所*****）

開催日時：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇

定員：〇〇名

内容：カワウの生態について
被害状況と対策について
意見交換

